

2012年3月期 決算説明会

2012年 5月14日



本日のプレゼンテーション

- 2012年3月期 連結決算概要
- 2013年3月期 連結業績見通し
- セグメント別業績見通し
- 中期イメージ、中長期の成長に向けて
- 研究開発 設備投資
- 財務状況

(億円)	11年3月期	12年3月期	前期比
売上高	2,394	2,478	+4%
営業利益	321	261	△19%
経常利益	327	287	△12%
当期純利益	244	△356	—

□は11年12月公表値

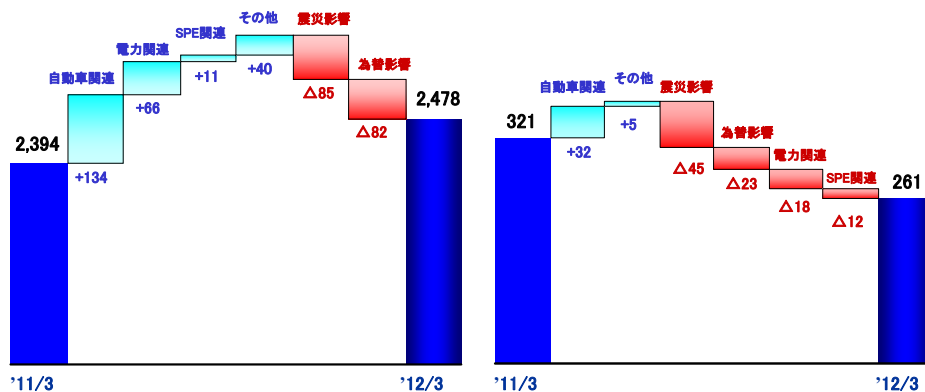
前期比増収減益 当期純利益は創業来で初の赤字

- 自動車関連製品の需要は堅調な一方、NAS電池の火災事故影響により電力関連事業の赤字が拡大。エレクトロニクス事業も低調。
- NAS電池の火災事故を受け、安全対策や資産評価減で611億円の特別損失を計上。がいし事業の減損損失や移転価格税制の更正処分もあり、大幅な当期純損失。

売上高

営業利益

(億円)

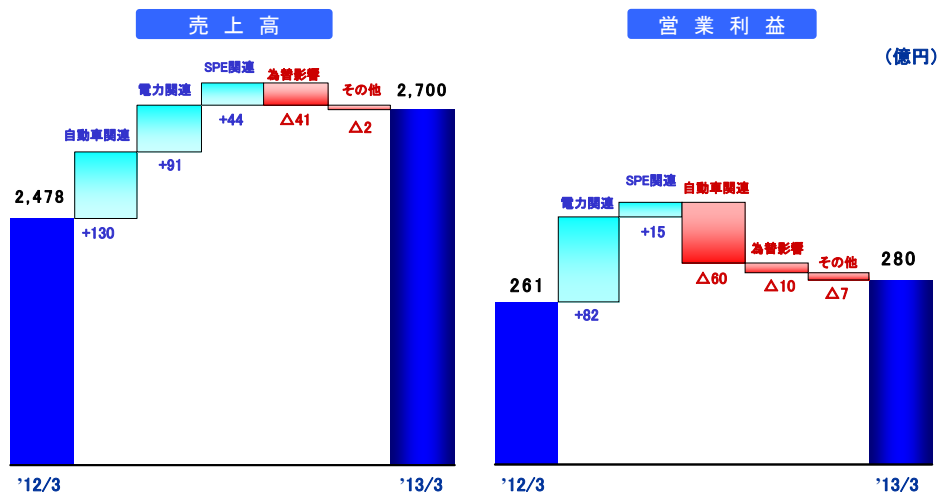


為替レート	前期 ('11/3)	当期 ('12/3)
	88円 /US\$	80円 /US\$
	116円 /ER	111円 /ER

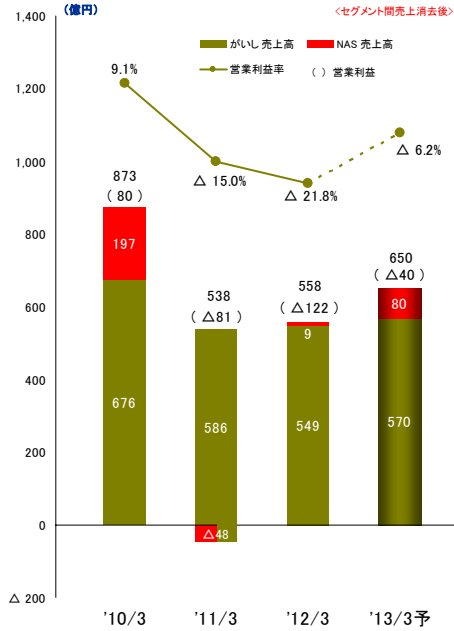
(億円)	12年3月期	13年3月期	前期比
売上高	2,478	2,700	+9%
営業利益	261	280	+7%
経常利益	287	300	+5%
当期純利益	△356	240	—

前期比増収増益 当期純利益は黒字化

- 電力 がいしは海外案件の寄与で増収、黒字化。
NASは安全対策を進めた上で、下半期から生産再開予定。営業損失は縮小。
- セラ 自動車関連製品は需要堅調で増収も、償却費増、価格低下、円高等により減益。
- エレ 半導体製造装置用セラミックスは市況が堅調なほか事業買収寄与で増収増益。
電子部品は需要の落ち込みが大きく苦戦。



為替レート	前期 ('12/3)	当期 ('13/3)
	80円 /US\$	80円 /US\$
	111円 /ER	100円 /ER



■ 事業環境

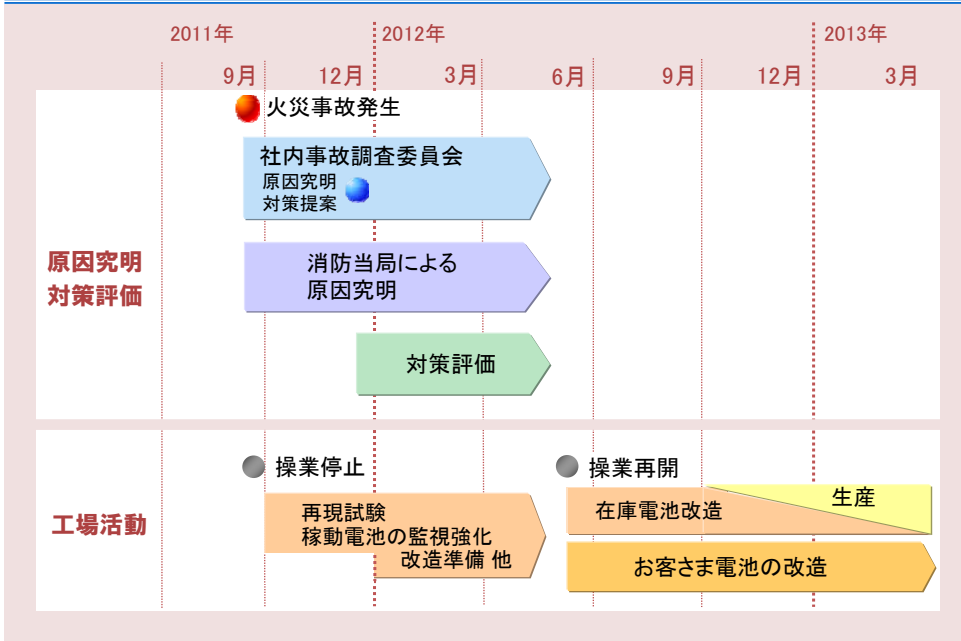
◆ **がいし:**
 (国内)・震災以降、電力会社の業績悪化による設備投資抑制が継続
 (海外)・中国市場での競争激化
 ・中国市場における直流案件の本格化

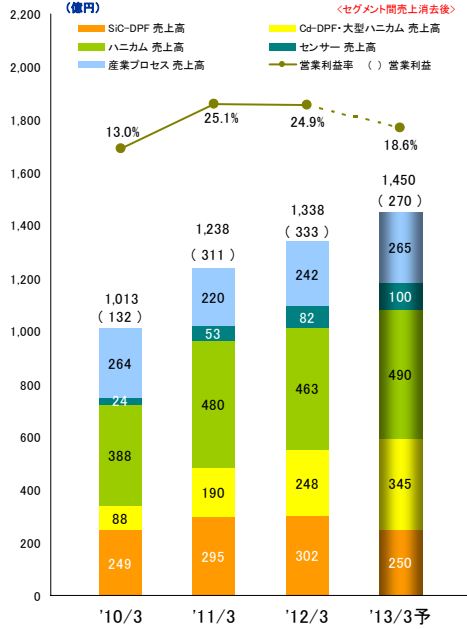
◆ **NAS電池:**
 ・火災事故を受け、生産を中断

■ 課題

◆ **がいし:**
 ・日本・中国の4工場の連携強化・生産再編
 ・ものづくり構造革新によるコストダウンの推進
 ・競争が激化する中国市場における高電圧品への特化

◆ **NAS電池:**
 ・安全対策の確実な実施と信頼の回復
 ・海外案件の着実な取り込み





■ 事業環境

◆ 自動車関連:

- ・新興国の乗用車販売増加、米国・欧州・日本も堅調
- ・米国でのトラック販売回復と新興国での需要拡大
- ・建機等オフロード車の排ガス規制強化
- ・円高の継続

◆ 産業プロセス:

- ・医薬、エネルギープラント関連のメンテナンス需要堅調
- ・電力供給不安、円高により国内設備投資の動向不透明

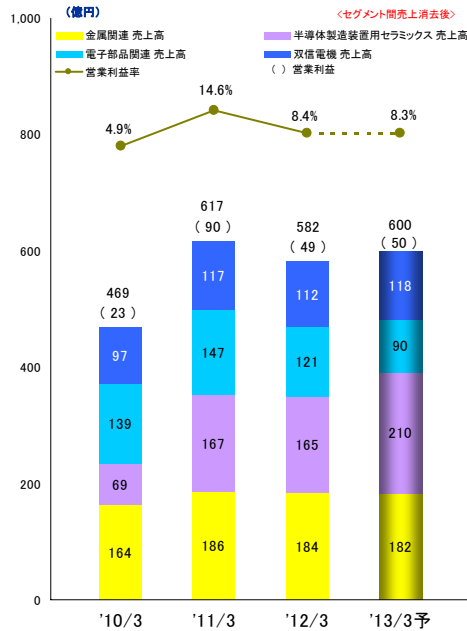
■ 課題

◆ 自動車関連:

- ・拡大するオフロード市場、新興国市場への拡販
- ・需要増加に対応するグローバル生産体制の確立
- ・生産能力拡大に伴う費用増に対応するため、更なる原価低減(ものづくり構造革新の継続)
- ・NOxセンサーの増産対応と収益性向上

◆ 産業プロセス:

- ・医薬、環境エネルギー分野の需要取り込み



■ 事業環境

◆ 半導体製造装置用セラミックス:

- ・半導体製造装置市況は堅調に推移
- ・半導体微細化

◆ 電子部品:

- ・インクジェット用プリンター部品、照明部品ともに競合品のシェア拡大により需要の落ち込み、既存品の収益悪化

◆ ベリリウム銅展伸材:

- ・客先の中国市場のウエイトが高まる

■ 課題

◆ 半導体製造装置用セラミックス:

- ・溶射技術活用による事業の拡大

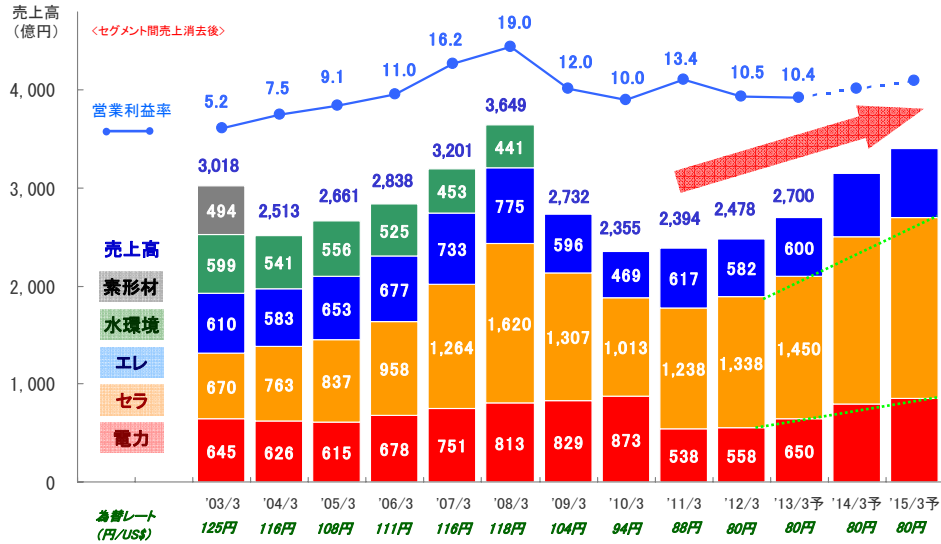
◆ 電子部品:

- ・既存品の落ち込みをカバーするため、社内研究所や他社との連携の強化、M&Aの活用により、新製品の創出を加速

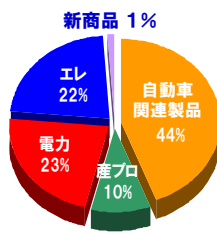
◆ ベリリウム銅展伸材:

- ・中国市場での販売体制確立
- ・新規アプリケーションの探索による需要開拓

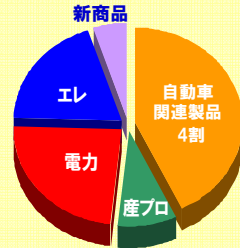
2012年度を成長の足がかりに、再出発



2011年度



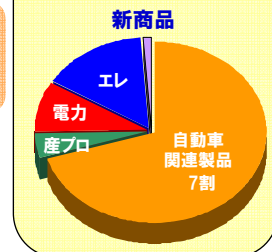
2014年度



売上高

自動車関連製品への依存度が高く
これに次ぐ柱の育成が課題

- ・電力: 黒字化
- ・エレ: 利益率改善
- ・セラ: 拡大するが利益率厳しい



営業利益

将来の柱となる新規事業を立ち上げる

- ▶ 技術先進性を活かした新製品創出をスピードアップ

国内市場が縮小する中、海外市場で事業を拡大する

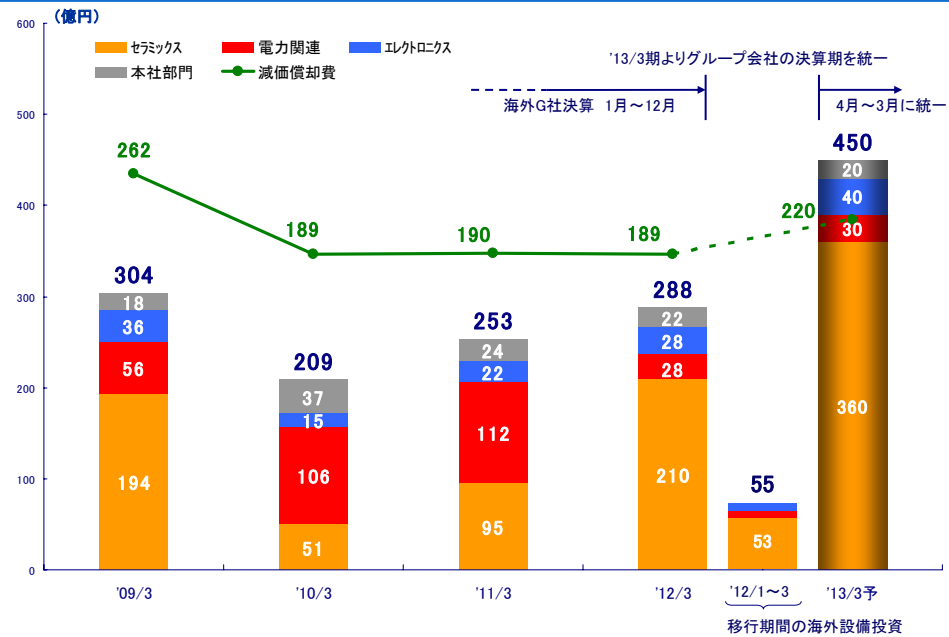
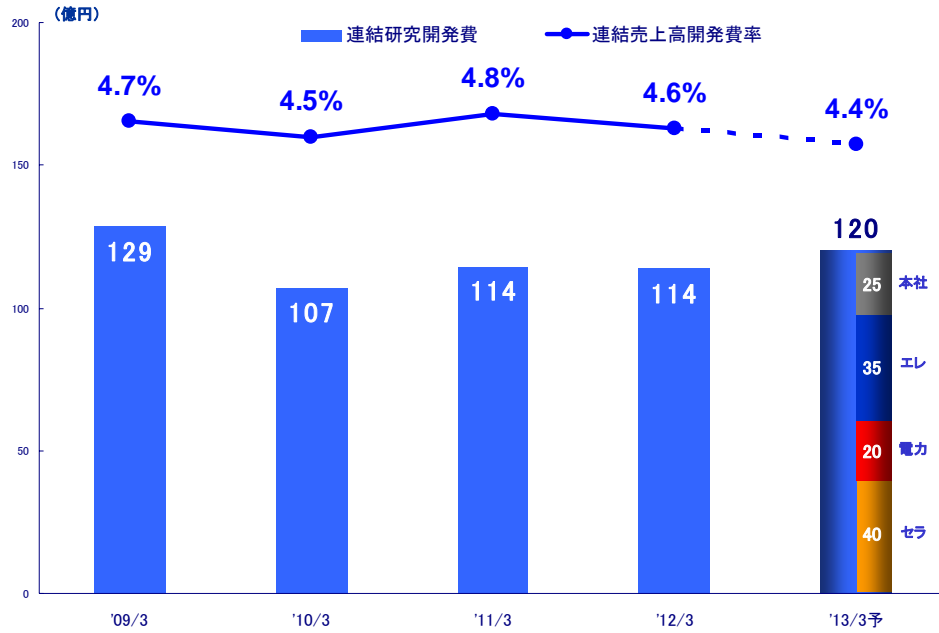
- ▶ グローバルベースの効率的生産体制の確立
- ▶ 国内の役割は国際競争力のある技術・製品の開発

電力関連事業の収益性の改善

- ▶ NAS電池の安全対策、早期の事業再開
- ▶ がいし事業の再構築

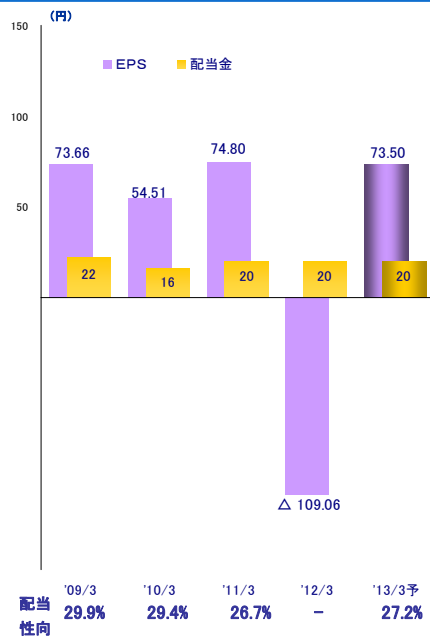
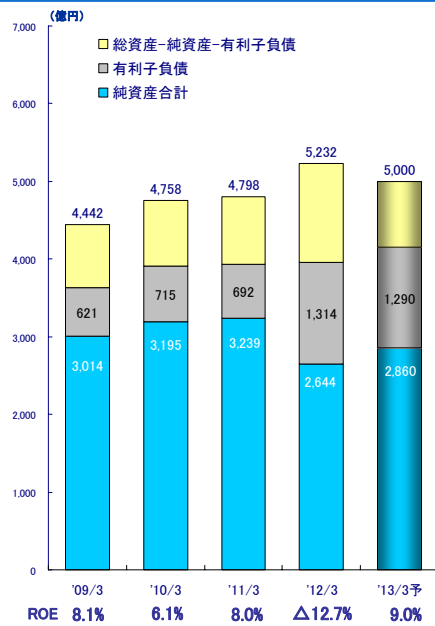
開発テーマの事業化加速

	SAWフィルター用 複合ウェハ	超高輝度LED用 フラックスGaNウェハ	大容量インバータ用 MOCVD-GaNウェハ	レーザー光源用 LNウェハ
	温度変化に対して安定したフィルタ機能を維持できるウェハ	発光効率の高いLEDチップを実現可能なウェハ	インバータ等に使用され高い省エネ性を実現可能にするウェハ	緑色のレーザー光を波長変換技術で実現するウェハ
適用デバイス	SAWフィルター	超高輝度LEDモジュール	大容量インバータ	超小型緑色レーザー
最終製品	 スマートフォン  タブレット端末	 ビジネスプロジェクター  ヘッドランプ	 白物家電  電気自動車	 車載用ヘッドアップディスプレイ プロジェクター内蔵スマートフォン



(億円)

	'11/3	'12/3	'13/3予
営業活動によるキャッシュ・フロー	367	139	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179	△454	△170
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51	566	△100
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△29	-
現金及び現金同等物の増減額	96	221	△180
グループ会社決算期移行期間の増減額 ('12/1~3)	-	-	△40
現金及び現金同等物期末残高	630	851	630



<セグメント間売上消去後>

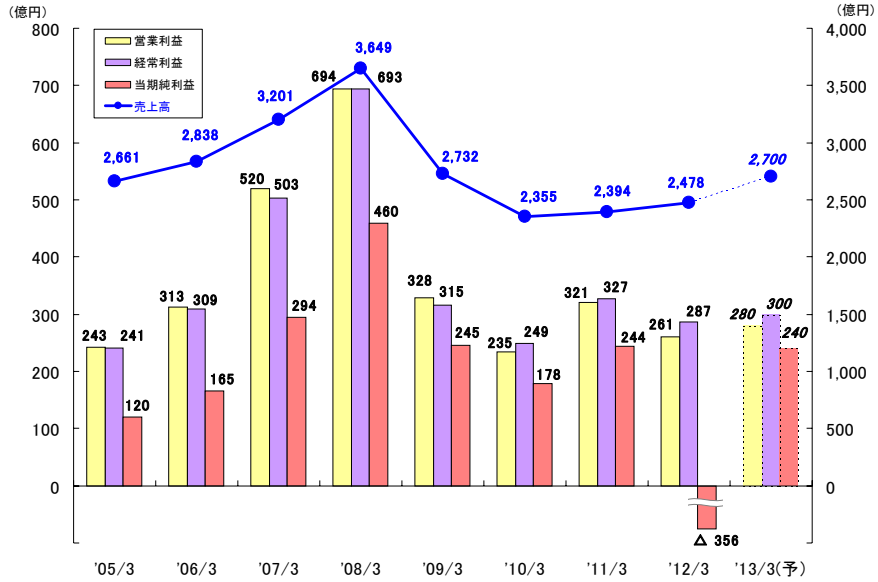
(億円)

	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期(予)
が い し	675	585	549	570
N A S	197	△48	9	80
電力関連合計	873	538	558	650
ハニカム	388	480	463	490
S i C - D P F	249	295	302	250
Cd-DPF・大型ハニカム	88	190	248	345
センサ	24	53	82	100
産業プロセス	264	221	242	265
セラミックス合計	1,013	1,238	1,338	1,450
金属	164	186	184	182
半導体製造装置セラミックス	69	167	165	210
電子部品	139	147	121	90
双信電機	97	117	112	118
エレクトロニクス合計	469	617	582	600
全社合計	2,355	2,394	2,478	2,700

<セグメント間売上消去後>

(億円)

	12年3月期		13年3月期(予)	
	上期	下期	上期	下期
が い し	269	280	250	320
N A S	5	4	0	80
電力関連合計	274	284	250	400
ハニカム	226	237	250	240
S i C - D P F	153	149	125	125
Cd-DPF・大型ハニカム	115	133	165	180
センサ	37	45	45	55
産業プロセス	102	141	115	150
セラミックス合計	633	705	700	750
金属	100	85	93	89
半導体製造装置セラミックス	93	73	95	115
電子部品	65	55	46	44
双信電機	58	54	56	62
エレクトロニクス合計	316	266	290	310
全社合計	1,223	1,255	1,240	1,460



この配布資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、需要動向などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知置きください。



〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口：財務部 開示グループ

Tel. (052) 872-7212 Fax. (052) 872-7160

E-mail: ir-office@ngk.co.jp

Homepage: <http://www.ngk.co.jp>